

別紙 1-1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 AL-SHOAIBI Abubakr Ahmed Abdullah

論 文 題 目

Age and sex differences in factors associated with hypertension among
an urban poor population in Bangladesh

(バングラデシュ貧困層居住地域住民における高血圧関連要因の性と年齢による差異)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委員

岩 井 建 志 

名古屋大学教授

委員

加 藤 昌 志 

名古屋大学教授

委員

室 原 豊 明 

名古屋大学教授

指導教授

八 谷 寛 

論文審査の結果の要旨

別紙 1 - 2

バングラデシュ・ダッカ市の一貧困地域の住民を対象とした横断研究のデータを用い、社会人口統計的要因、生活習慣および健康診断の成績と高血圧との関連について、性・年齢層別に検討を行った。年齢層は 18～44 歳と 45～64 歳の 2 層とし、多変量ロジスティック回帰モデルによる統計解析を実施した。その結果、若年男性では、腹囲と LDL コレステロールが高血圧と有意な正の関連を示した。高齢男性では、身体活動量のみが有意な関連を示し、その関連は予防的であった。若年女性では、BMI、HbA1c、中性脂肪、LDL コレステロールが高血圧と正に関連した。高齢女性では、HbA1c のみが高血圧と有意な正の関連を示した。本研究結果は、バングラデシュの都市貧困地域における高血圧予防のための肥満指標として、女性の BMI または男性の腹囲が有用であることを示唆したものと考えられる。

1. 男性に比べて女性の前糖尿病と糖尿病の有病率が高いのは、過体重および肥満の女性の割合が男性よりも高いことに起因する可能性がある。都市貧困地域に住む女性の不健康な食生活と社会的規範から制限された身体活動が、過体重および肥満に繋がっている可能性が考えられた。
2. 信頼性、妥当性を確保するため、今回の調査は質問紙に基づき、訓練を受けた 4 人の男女のインタビュアーによって実施された。インタビュアーは短大以上卒の学歴を有し、それまでに同様の経験を持つものから選ばれた。インタビュアーは対象者の自宅を訪問し、予め定められた標準的調査方法にしたがってインタビューを実施した。
3. 本研究で把握した身体活動は余暇身体活動のみでなく、労働等の生活活動を含む全身体活動量となっている。研究対象地域の若年男性はリキシャ運転手など重労働に従事する者が多く、職業上の身体活動が全身体活動量の主要な部分を占めていることが推測される。職業上の身体活動が血圧の高値に関連することも過去に報告されており、男女年齢階級別に身体活動の種類別に高血圧との関連を調べる研究が本地域においても今後求められる。
4. ご指摘の通り、横断研究結果のみに基づいて対策を論じることは適切ではない。しかし、肥満と高血圧の関連に関する知見は確立しており、若年男女で認められた本研究結果はそれに合致するため、本地域の若年層においても肥満の予防あるいは管理は高血圧予防に有用であることが推測される。ただし、高血圧と関連する肥満の指標は若年男性で腹囲、若年女性で BMI と異なっており、さらなる研究が必要と考えられる。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	AL-SHOAIBI Abubakr Ahmed Abdullah
試験担当者	主査	若井建	副査 ₁	加藤昌彦
	副査 ₂	室原豊明	指導教授	八谷寛
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜこのコミュニティでは男性よりも女性の方が前糖尿病と糖尿病の有病率が高かったか。 2. 自己申告の正確性は保証されているか。 3. 身体活動と高血圧の予防的な関連が高齢男性でのみ認められていることについてどのように考えるか。 4. 本横断研究では因果関係は不明である。高血圧予防のための公衆衛生学的対策は性や年齢によって異なるアプローチが必要になるという結論は過大な解釈ではないか。 <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、国際保健医療学・公衆衛生学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				